

一番身近な人助け……愛の献血

「400mL献血」は、輸血の必要量を少人数でまかなえ、また、副作用の危険性を減少させる役割をはたしています。

ぜひ、「400mL献血」に皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

献血会場のお知らせ



期 日 3月 17日 (木)
時 間 11:30 ~ 13:00
会 場 協同組合新潟卸センターNOCプラザ
受 付 102会議室

献血にご協力いただいた方に検査サービスとして健康管理に役立つ糖尿病関連等の項目をお知らせしていますのでご協力をお願いいたします。

「献血カード」をお持ちの方は、当日ご持参ください。

満16歳～64歳までの方が献血していただくことができます。
 (60歳代での献血経験者は、69歳まで献血が可能です。)

愛の献血バス

新潟市保健所・
新潟県赤十字血液センター

男 性
45kg
以上

女 性
40kg
以上

◆献血の前に…「献血の間隔」を確認してください

■献血の間隔

<献血は、空腹及び睡眠不足時を避けてください>

前回の献血 次回の献血	血漿成分献血	血小板成分献血※	200mL献血	400mL献血
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます	男女とも4週間後の同じ曜日から献血できます		男女とも8週間後の同じ曜日から献血できます
血小板成分献血				男性は12週間後・女性は16週間後の同じ曜日から献血できます
400mL献血				
200mL献血				

※血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

◎献血についてのお問い合わせは 新潟県赤十字血液センター業務課 ☎025-230-1702

ホームページ <http://www.niigata.bc.jrc.or.jp/>

お 願 い

輸血医療は他に代わり得るものがなく、生命を救う唯一の手段として行われます。
輸血の安全性を確保するため、以下に該当する方は献血をご遠慮ください。

- (1) エイズ検査が目的の方
- (2) この1年間に次のいずれかに該当することがあった方
 - ① 不特定の異性と性的接触をもった
 - ② 男性の方：男性と性的接触をもった
 - ③ エイズ検査(HIV検査)で陽性と言われた
 - ④ 麻薬・覚せい剤を注射した
 - ⑤ ①～④に該当する者と性的接触をもった
- (3) 輸血や臓器の移植を受けたことがある方
- (4) B型やC型の肝炎ウイルス保有者(キャリア)と言われた方
- (5) 梅毒などの性病、C型肝炎、マラリアにかかったことがある方
- (6) 海外から帰国(入国)して、4週間以内の方
- (7) 以下の外国の滞在(居住)に該当される方

英国

※英国(the United Kingdom)とは、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランド、マン島(Isle of Man)、チャンネル諸島(Channel Islands)の総称です。

- ① 昭和55年(1980年)以降、平成8年(1996年)までに通算1ヵ月以上滞在された方
- ② 平成9年(1997年)以降、平成16年(2004年)までに通算6ヵ月以上滞在(居住)された方

アイルランド	イタリア	オランダ	サウジアラビア	スペイン
ドイツ	フランス	ベルギー	ポルトガル	

- ③ 昭和55年(1980年)以降、平成16年(2004年)までに上記の国に通算6ヵ月以上滞在(居住)された方 <通算6ヵ月の計算には①②④の滞在(居住)歴も含まれます。>

スイス

- ④ 昭和55年(1980年)以降、通算6ヵ月以上滞在(居住)された方
<通算6ヵ月の計算には①②③の滞在(居住)歴も含まれます。>

オーストリア	ギリシャ	スウェーデン	デンマーク
フィンランド	ルクセンブルグ		

- ⑤ 昭和55年(1980年)以降、平成16年(2004年)までに上記の国に通算5年以上滞在(居住)された方 <通算5年の計算には①②③④⑥の滞在(居住)歴も含まれます。>

アイスランド	アルバニア	アンドラ	クロアチア	サンマリノ
スロバキア	スロベニア	セルビア	チェコ	ノルウェー
バチカン	ハンガリー	ブルガリア	ポーランド	
ボスニア・ヘルツェゴビナ	マケドニア	マルタ	モナコ	
モンテネグロ	リヒテンシュタイン	ルーマニア		

- ⑥ 昭和55年(1980年)以降、上記の国に通算5年以上滞在(居住)された方
<通算5年の計算には①②③④⑤の滞在(居住)歴も含まれます。>

- (8) この3日間に出血を伴う歯科治療(歯石除去を含む)を受けられた方
- (9) 女性の方：現在妊娠中、授乳中または6ヶ月以内に出産、流産をした方

上記以外にも輸血を受けられる方や献血をされる方の安全性を確保するため、検診医の判断により献血をご遠慮いただくことがありますので、ご了解くださいますようお願いいたします。

2010年1月15日改訂